

「希望の光」

(第四十六回)

神戸の「ルミナリエ」を訪れた。かつての震災で鎮魂の想いや復興の願いを込めて始まったものだ。今年のテーマは「光

の地平線」。光の回廊から続く直径42mの「光の壁掛け」のイルミネーションを目の当たりにして、私は声を失った。美しい！

まるで異次元にいるかのよう。心に染み入る美しいBGMも私たちを優しく包んでくれる。心が明るく暖かくなり、テーマ音楽のCDも購入した。

同じころ、阿南市街でも「ミルキーウェイ」がオー

プン。銀河の煌めきのような30万個の発光ダイオード(LED)の光を私は身体一杯に浴びた。青色LEDは、徳島大学出身の中村修二博士が発明したことで知られる。赤色LEDは以前に

東北大学の教授が開発し、車のブレーキランプや電気製品のスイッチなどで、お馴染みの色。光の三原色が揃い、あらゆる色の光を作りだすことが可能になった。携帯電話がフルカラーとなり、

信号機の電球が半永久的に。地球規模でエネルギーが節約され、温暖化の防止などその貢献度は計り知れない。

健康のススメ 板東 浩

中村氏は現在米国の大学教授。「日本を捨てた男が日本を変える」や「考える力、やり抜く力私の方法」などの本で私達もお会いでき、指導してもらえる。「頭で考えるだけではだめ。手足を動かし、自分でさまざまな改良を重ねることが大事である」と。

エジソンが発明した電球が、将来LEDに変わる。希望の光がもうすぐ人の心を、国を、そして世界を変えていくのは間違いない。(医学博士・内科医師)